

ももが行くほかいどう

くいしん坊のスロー旅

vol. 56

大地と人を繋ぐ

ミツバチのめぐみを届ける養蜂家の巻



季節ごとの花の蜜を
楽しんでください!!

尾形優子さん

ラ・ターブルベルの
尾形剛弥さん



良い香りの漂うハーブ畑から

今回のスロー旅は石狩市へ。無農薬栽培のハーブ園を作り、健康的な養蜂を営む「ラ・ターブルベル」の尾形剛弥さんと優子さんご夫婦を訪ねました。

花畔神社の通り向かいに秘密の花園のようなハーブ園があり、その奥のビニールハウスが直売所になっています。ハーブ園では百種以上の草花が育てられていて、ふわあつと良い香りがします。そしてじつと花を見つめ佇んでいると、花と花の間をミツバチがゆつたりと飛び回りながら、蜜を集めています。

「ハーブ園はミツバチの蜜源。ミツバチは大地と人とを繋ぐために人にものを与えてくれる唯一の昆虫なんです」と優子さん。ミツバチと出合い養蜂を勉強し始め、探求する中でハチを健康に保ち、健康な植物から集めたハチミツを作りたい、そしてミツバチを通して、いろいろな人たちに持続可能な食や自然との繋がりを知ってほしいといいます。

古来からの伝統的な採取方法を勉強し、インドのアーユルヴェーダに基づいて季節ごとに「あるがまま」のハチミツを作っています。「ハチミツの瓶を並べると綺麗でしょう」と優子さん。「あるがまま」のハチミツは季節ごと、場所や花ごとに味わいも色も変わります。この変化を味わい、ご自身の健康に役立ててほしいと大切な酵素が壊れずに残る非加熱でハチミツを提供しています。



●文・絵／すずきもも
イラストレーター&絵本作家。さまざまな媒体のイラストや
エッセイ、絵本の執筆などで活躍。札幌市在住。



ラ・ターブルベール

石狩市花畔573-8(花畔神社通り向かい) JR札幌駅より地下鉄南北線麻生駅下車、バスにて花畔停下車、徒歩約2分
営業時間／9:30～12:30(水・土曜日のみ) ※土曜日はイベントなどで休む時があります。
※商品はオンラインショップでお求めください。(直売所は11月より4月頃まで冬季休業)
Mail: latableverte82@gmail.com HP: www.la-table-vert.com Online shop: la-table-verte.shop-pro.jp/

建築家から養蜂家へ

建築家として東京で実績を積み、剛弥さんの故郷へ移住し、札幌で設計事務所を開設していたご夫婦。当時、シックハウスなどでアレルギーに悩む人が増加、注文住宅への要望も増え、忙しい日々が続く、ストレスフルな生活で体調を崩してしまいます。生活を切り替え、食を見直し、自然に寄り添った暮らしをしたいと考えるようになったそうです。

仕事で床などのワックスに蜜蝋を使っていたのが輸入品は高く、自分達で作れないかと剛弥さんは病気を抱えながらハチの研究会を設立し、同時に優子さんは自身の病気やアレルギーを緩和するためにハーブについて学んでいました。「ハチは自分の身体を守るのに、ハーブの効能を利用している」と学び、養蜂もハーブ園も一緒にできると、それぞれ学んだことが繋がったのです。

ご夫婦はミツバチを健康に育て、ハチミツは非加熱で、蜜源となるハーブは無農薬自然栽培しようと研究を重ねました。さまざまな人の後押しや助けがあり「ラ・ターブルベール」が二〇一〇年頃、誕生しました。養蜂家として出発したのです。最初は四群(二群が一箱)だったミツバチも今では数十群に増え、採蜜場所も四箇所に広がりました。また蜜蝋やハーブティなども作っています。ぜひ、季節ごとの花の蜜をぎゅっと閉じ込めた「あるがまま」のハチミツを楽しんでください。